

第13期末（2019年9月17日）

基準価額 9,540円

純資産総額 12億円

第12期～第13期
（2019年3月16日～2019年9月17日）

騰落率 $\Delta 0.6\%$

分配金合計 120円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

ニッセイ／BEA ユニオン インベストメント・ アジアボンド・セレクション （3ヵ月決算型）

追加型投信／海外／債券 **特化型**

交付運用報告書

作成対象期間：2019年3月16日～2019年9月17日

第12期（決算日 2019年6月17日）

第13期（決算日 2019年9月17日）

受益者の皆様へ


平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／BEA ユニオン インベストメント・アジアボンド・セレクション（3ヵ月決算型）」は、このたび第13期の決算を行いました。

当ファンドは、「NAMアジア・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド」への投資を通じて、日本を除くアジアの現地通貨建て債券を実質的な主要投資対象とし、安定した金利収入の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**（コールセンター）

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書（全体版）をダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書（全体版）

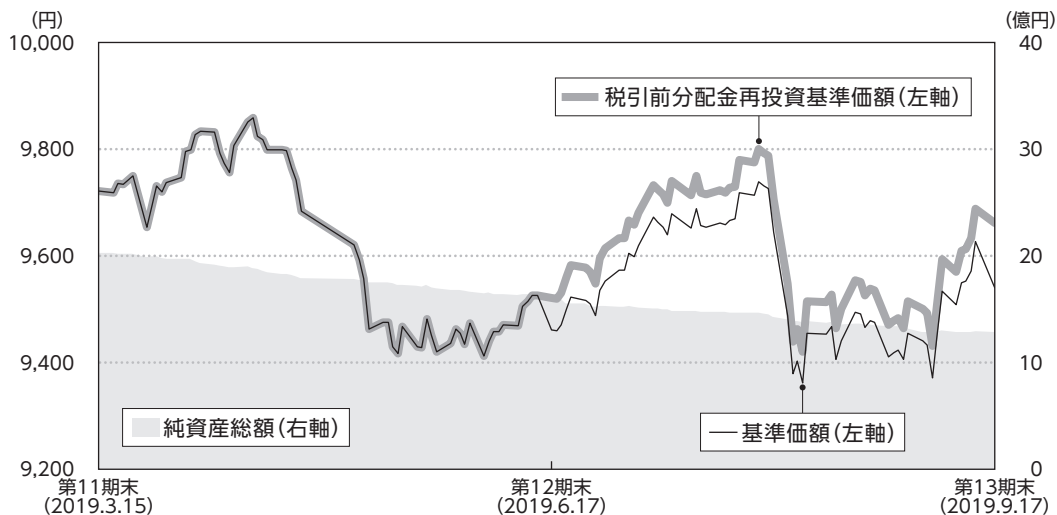
UD FONT

ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

2019年3月16日～2019年9月17日

基準価額等の推移



第12期首	9,721円	既払分配金	120円
第13期末	9,540円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△0.6%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

米金利の低下やアジア各国中央銀行の緩和的な金融政策に対する前向きな姿勢などを受けて、アジア現地通貨建て債券市場は上昇したものの、米中貿易摩擦の激化などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、アジア通貨が総じて下落したことなどから、当作成期の基準価額はやや下落しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第12期～第13期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	57円	0.593%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,583円です。
（投信会社）	(21)	(0.219)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(34)	(0.357)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	57	0.597	

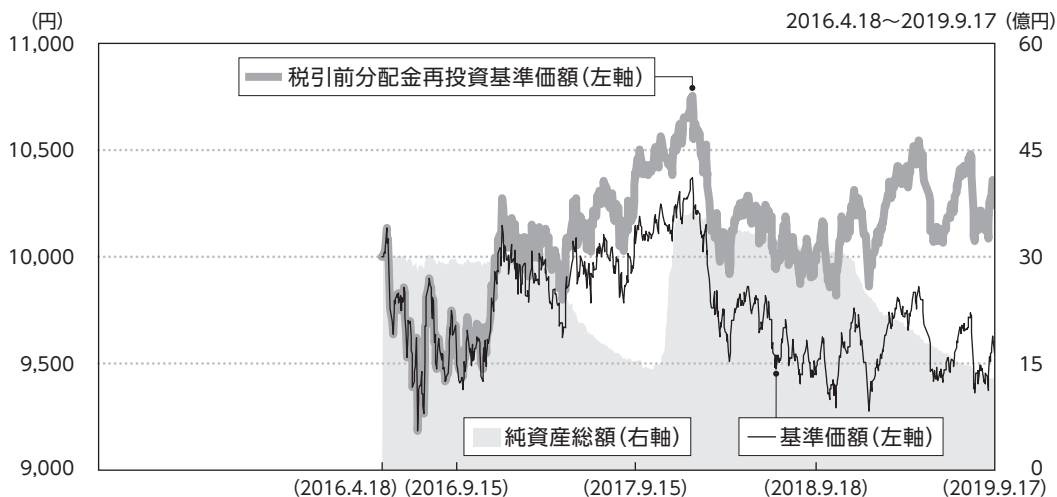
(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの設定日は2016年4月18日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

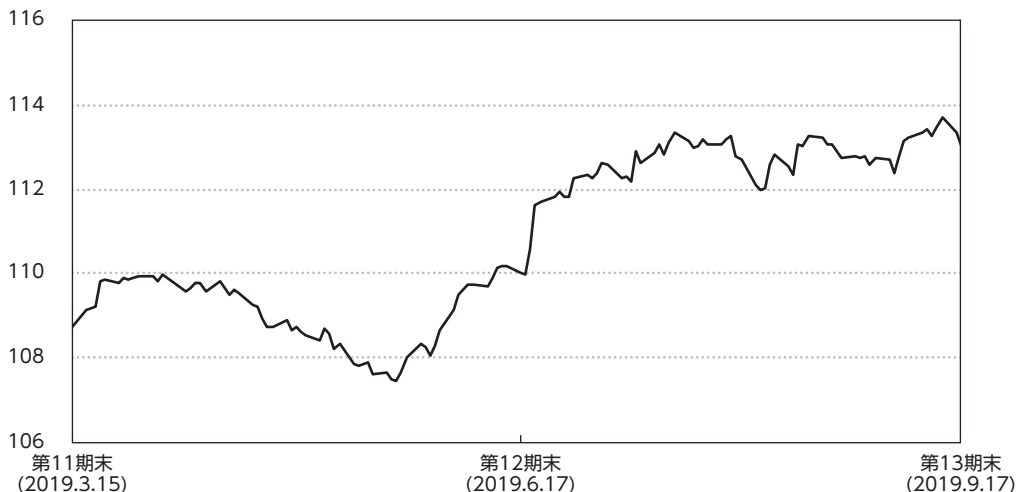
決算日		2016年 4月18日	2016年 9月15日	2017年 9月15日	2018年 9月18日	2019年 9月17日
基準価額（分配落）	(円)	10,000	9,495	10,064	9,446	9,540
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	60	240	240	240
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△4.5	8.6	△3.8	3.5
純資産総額	(百万円)	3,066	2,923	1,528	3,119	1,281

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

海外債券市況

【アジア債券市場の推移】



(注1) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

(注2) アジア債券は、Markit iBoxx Asian Local Bond Index (ALBI)です。Markit iBoxx Asian Local Bond Indexは、マークイット社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。マークイット社は指数に関し一切の責任を負いません。

当作成期のアジア現地通貨建て債券市場（現地通貨ベース）は総じて上昇しました。

米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを進める中、米中貿易摩擦や景気減速懸念などを背景に米金利が低下したことなどを受け、アジア現地通貨建て債券市場は上昇しました。世界の主要中央銀行やアジア各国の中央銀行が金融緩和策に対する可能性を示唆したことなども上昇要因となりました。

国・地域別ではタイ中央銀行が8月に利下げを実施したことなどから、タイ債券市場が特に上昇しました。

アジア通貨については米中貿易摩擦の激化などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、総じて下落しました。また、通貨別では経常黒字が積み上がっているタイ・バーツが対円で安定した推移となった一方で、米中貿易摩擦の影響を受けた中国人民元や輸出依存度が比較的高い韓国のウォンが下落しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

外国投資信託証券への投資を通じて、日本を除くアジアの現地通貨建て債券を実質的な主要投資対象とし、安定した金利収入の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■NAMアジア・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド

※B E A ユニオン インベストメント マネジメント リミテッドの資料（現地における当作成期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を除くアジアの政府・政府機関、企業等が発行する現地通貨建て債券に投資し、金利収入の確保と信託財産の長期的な成長を図ることをめざしました。

当作成期末時点の国・地域別配分は、組入比率の高い順に韓国（15.9%）、中国（14.0%）、インドネシア（12.8%）、マレーシア（11.6%）、シンガポール（11.4%）、タイ（9.5%）としています。

また、債券種類別投資状況は、組入比率の高い順にソブリン債券（84.0%）、社債（15.2%）としており、組入債券の平均格付はA格となっています。

（注1）比率について、国・地域別配分は対組入債券および現金等評価額比、債券種類別投資状況は対純資産総額比です。

（注2）国・地域はB E A ユニオン インベストメント マネジメント リミテッドの分類によるものです。

（注3）ソブリン債券とは、各国の中央政府やそれに準ずる機関が発行する債券です。

（注4）格付はムーディーズ社、S & P社、フィッチレーティングス社のうち、最上位の格付を採用しています。なお、いずれの格付会社からも格付が付与されていない場合、B E A ユニオン インベストメント マネジメント リミテッドによる社内格付を採用しています。平均格付とは、投資対象ファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、日本を除くアジアの現地通貨建て債券を実質的な主要投資対象とし、安定した金利収入の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第12期	第13期
	2019年3月16日～2019年6月17日	2019年6月18日～2019年9月17日
当期分配金（税引前）	60円	60円
対基準価額比率	0.63%	0.63%
当期の収益	60円	60円
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	278円	301円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を除くアジアの現地通貨建て債券を実質的な主要投資対象とし、安定した金利収入の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■NAMアジア・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド

アジア現地通貨建て債券市場については、各国中央銀行がさらなる緩和的な金融政策を行う可能性があることなどが下支えになると考えます。また、米中貿易摩擦やブレグジット（イギリスの欧州連合（EU）離脱）問題などを背景とした投資家のリスク回避傾向は、より信用力の高い国・地域の債券市場（韓国、シンガポール、タイ等）のサポート材料になると予想されます。

アジア通貨については、世界的な貿易量の縮小が輸出依存度の高い国の通貨に対する下押し圧力になると考えます。一方で、比較的金利の高い通貨については、投資家心理の変化による影響を受けやすいものの、世界的に金利が低下していることから、投資家の利回り追求の動きがサポート材料になると考えます。

今後の運用方針については、各国中央銀行によるさらなる緩和的な金融政策の可能性や世界的な金利低下傾向などから、アジア国債全体、特に金利の高い国・地域については、引き続き強気に見ています。一方で、米中貿易摩擦の激化や経済の減速が懸念される中国、輸出の減少が続いている韓国の通貨については引き続き注意が必要であると考えています。

今後も、市場動向等を注視しつつポジションを調整し、魅力的な銘柄を厳選して投資します。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第13期末 2019年9月17日
NAMアジア・ローカル・カレンシー・債券・ファンド	98.8%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

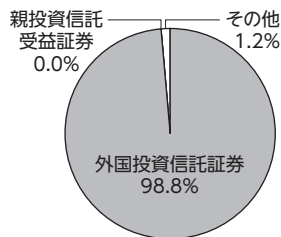
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

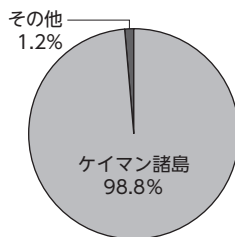
項目	第12期末 2019年6月17日	第13期末 2019年9月17日
純資産総額	1,606,800,730円	1,281,098,673円
受益権総口数	1,698,291,002口	1,342,833,469口
1万口当たり基準価額	9,461円	9,540円

(注) 当作成期間（第12期～第13期）中における追加設定元本額は11,072,625円、同解約元本額は757,110,180円です。

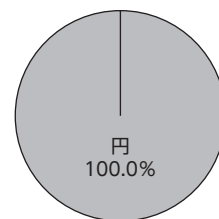
資産別配分



国別配分



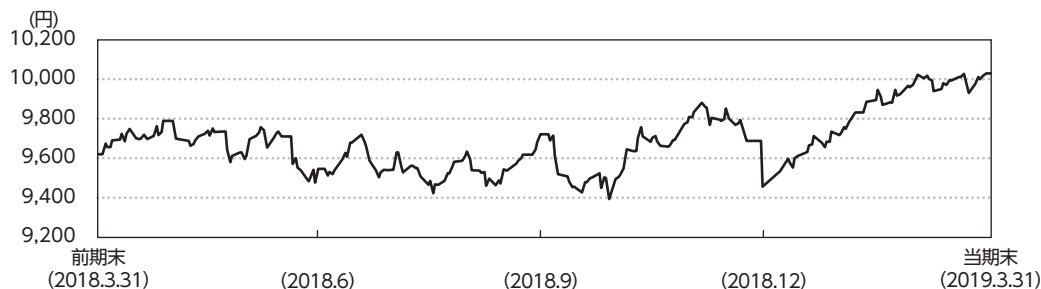
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2019年9月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

NAMアジア・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドの概要

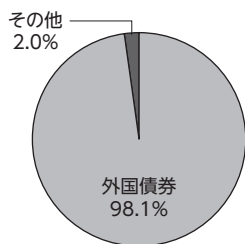
■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



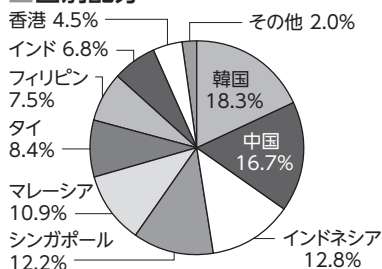
■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
KOREA TREASURY BOND	韓国ウォン	5.1%
KOREA TREASURY BOND	韓国ウォン	4.4%
INDIA GOVERNMENT BOND	インド・ルピー	4.2%
KOREA TREASURY BOND	韓国ウォン	4.0%
THAILAND GOVERNMENT BOND	タイ・バーツ	4.0%
MALAYSIA GOVERNMENT	マレーシア・リンギット	3.6%
INDONESIA GOVERNMENT	インドネシア・ルピア	3.4%
SINGAPORE GOVERNMENT	シンガポール・ドル	2.9%
PHILIPPINE GOVERNMENT	フィリピン・ペソ	2.9%
MALAYSIA GOVERNMENT	マレーシア・リンギット	2.9%
組入銘柄数		48

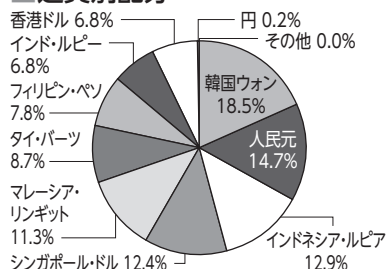
■ 資産別配分



■ 国別配分



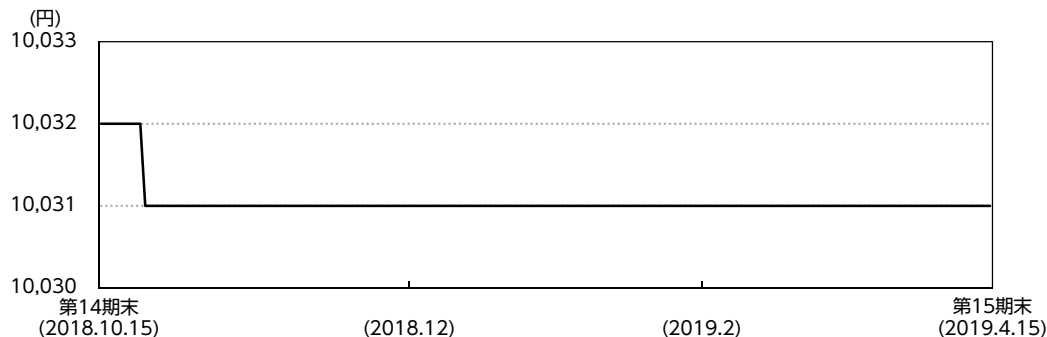
■ 通貨別配分



- (注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2019年3月31日現在）のものであり、比率については上位銘柄は、外国投資信託証券の組入債券に対する評価額の割合、資産別・国別配分は、組入債券および現金等に対する評価額の割合、通貨別配分は、純資産総額に対する評価額の割合です。なお、資産別・国別・通貨別配分はB E A ユニオン インベストメント マネジメント リミテッドの分類によるものです。
- (注3) 1万口当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。
- (注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照ください。
- (注5) 当頁はB E A ユニオン インベストメント マネジメント リミテッドの資料（2019年3月31日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

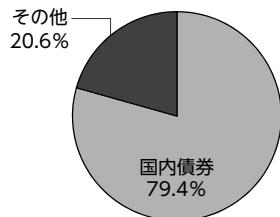
銘柄名	通貨	比率
第674回 東京都公募公債	円	19.9%
第328回 大阪府公募公債	円	19.9
第10回2号 宮城県公募公債(5年)	円	19.8
平成26年度第1回 福岡市公募公債(5年)	円	19.8
組入銘柄数		4

■ 1万口当たりの費用明細

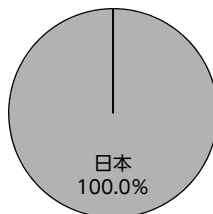
2018.10.16～2019.4.15

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

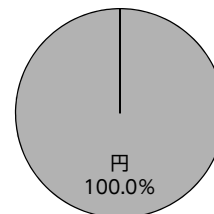
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



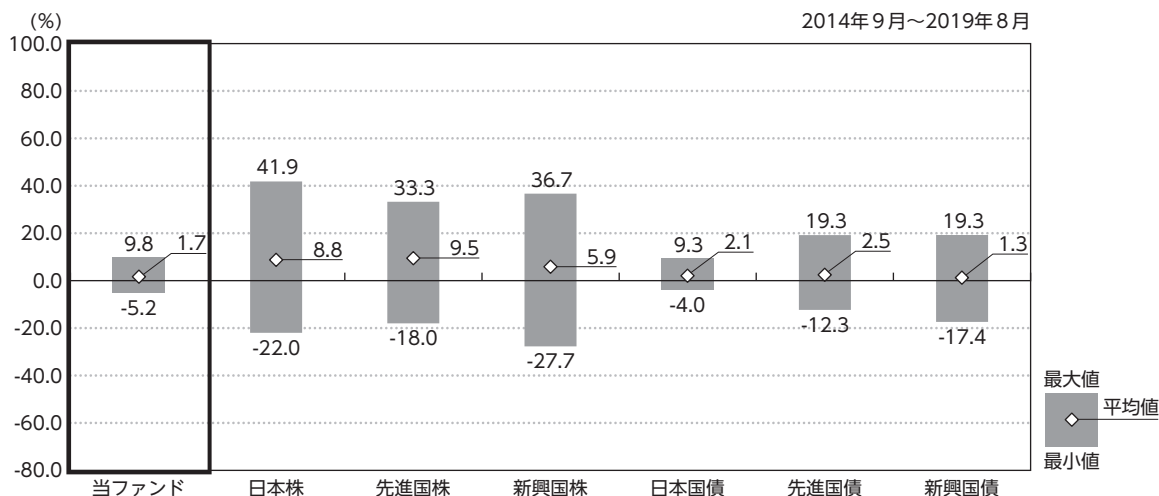
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2019年4月15日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、実在するデータのみ記載となっています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■ 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび T O P I X（東証株価指数）の商標または標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

■自社の実質保有比率

2019年8月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.0%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券 特化型	
信 託 期 間	2016年4月18日～2021年3月15日	
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて、日本を除くアジアの現地通貨建て債券を実質的な主要投資対象とし、安定した金利収入の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ／B E A ユニオン インベストメント・ ア ジ ア ボ ン ド ・ セレクション（3ヵ月決算型）	「NAMアジア・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	NAMアジア・ローカル・ カレンシー・ボンド・ファンド	日本を除くアジアの現地通貨建て債券等
	ニッセイマネーマーケット マザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	